

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は12月1日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《～牛乳類の販売個数への影響は比較的軽微も継続的な需要拡大、理解醸成を～》

- ・11/14週の牛乳類家庭内消費は、前週(11/7週)と比較して販売販売個数はやや減少した。多くの牛乳類で価格改定となつて3週目となったが、これまでの減少幅は比較的小さく、牛乳類では前年対比▲2%程度に留まっている。一方で、前週に引き続き牛乳に比べて価格改定幅が小さい乳飲料へシフトしている動きがみられる。なお、地域による動向に特に大きな差異はみられない。
- ・ヨーグルト類については、全品目通じて前週よりも販売個数は減少した。ドリンクタイプの下げ幅が大きく、4週連続で前年を超える水準であったが、前年並み水準まで減少している。
- ・相次ぐ物価高による家計負担の増加等により、牛乳乳製品の消費が低調に推移していたなかで、更に消費を押し下げる可能性のあった価格改定の影響は現時点では小さいとみられるが、今後改定を予定している小売、流通があることから、引き続き動向を注視する必要がある。
- ・飲用需要は需要喚起・消費拡大の効果等もあって現時点ではわずかな影響に留まっているものの、処理不可能乳発生が懸念されている年末年始に向けては予断を許さない状況が続くため、引き続き家庭内需要を中心とした需要の底上げや消費者に対する理解醸成は継続的に実施していく必要がある。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(11/14週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同97.5%、成分調整牛乳：同95.4%、加工乳：同100.0%、乳飲料：同104.4%。

牛乳類トータルでは同98.4%

※参考：2020年度比は、牛乳：92.6%、成分調整牛乳：88.2%、加工乳：98.4%、乳飲料：94.0%(牛乳類トータル：92.6%)

※参考：2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は96.5%。

・販売単価は、牛乳：205.5円、成分調整牛乳：188.3円、加工乳：199.7円、乳飲料：157.4円。

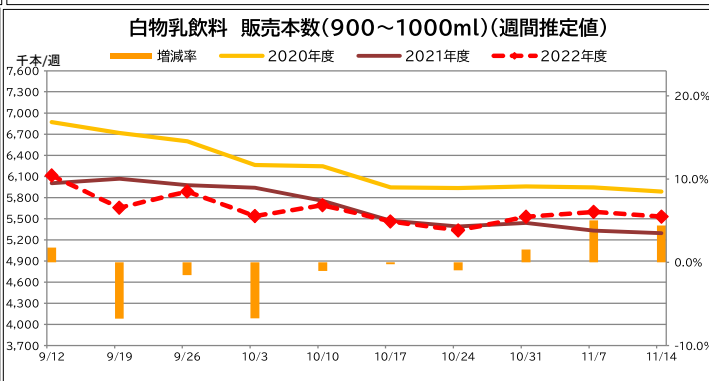
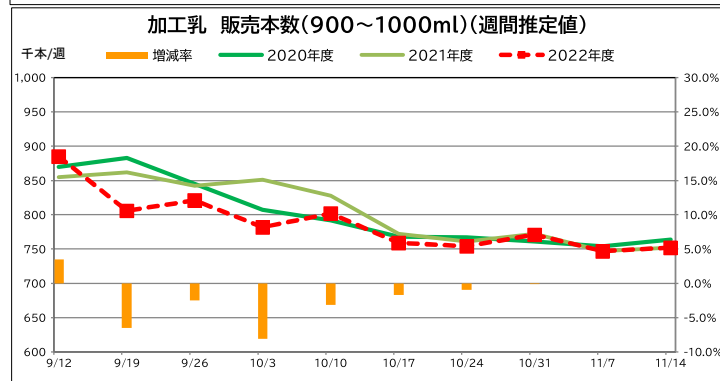
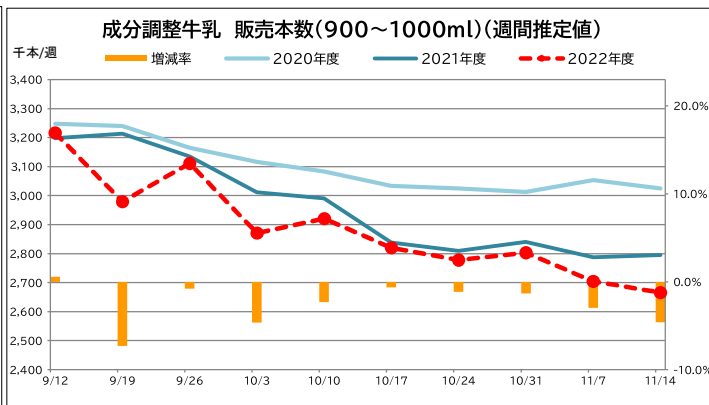
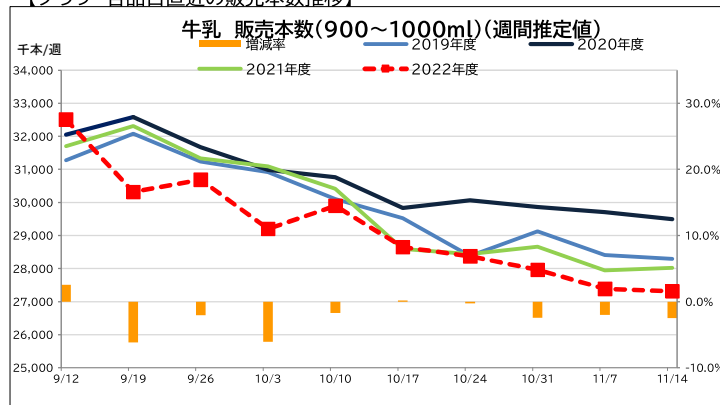
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	9.26-	10.3-	10.10-	10.17-	10.24-	10.31-	11.7-	11.14-
トータル	販売個数	40,513	38,395	39,317	37,690	37,241	37,066	36,438	36,264
	販売個数前年比	98.1	93.9	98.3	100.0	99.6	98.3	99.0	98.4
	販売単価	182.9	183.4	182.9	183.1	183.3	191.0	196.1	196.8
牛乳	販売個数	30,693	29,203	29,901	28,649	28,373	27,965	27,388	27,315
	販売個数前年比	97.9	93.9	98.3	100.2	99.8	97.5	98.0	97.5
	販売単価	190.1	190.6	190.0	190.2	190.3	199.0	205.0	205.5
成分調整牛乳	販売個数	3,111	2,871	2,921	2,820	2,778	2,803	2,705	2,666
	販売個数前年比	99.2	95.3	97.7	99.4	98.9	98.7	97.0	95.4
	販売単価	173.6	174.1	173.3	174.0	173.9	181.6	187.1	188.3
加工乳	販売個数	821	782	802	759	754	771	747	752
	販売個数前年比	97.5	91.9	96.9	98.4	99.1	100.0	100.0	100.0
	販売単価	190.1	189.5	189.8	189.8	190.9	195.7	199.8	199.7
乳飲料	販売個数	5,888	5,539	5,694	5,462	5,336	5,526	5,598	5,531
	販売個数前年比	98.5	93.2	99.0	99.8	99.0	101.6	105.0	104.4
	販売単価	149.5	149.7	149.5	149.3	149.9	154.3	156.6	157.4

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(11/14週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)販売個数について前週(11.7週)と比較し、全ての品目で減少した

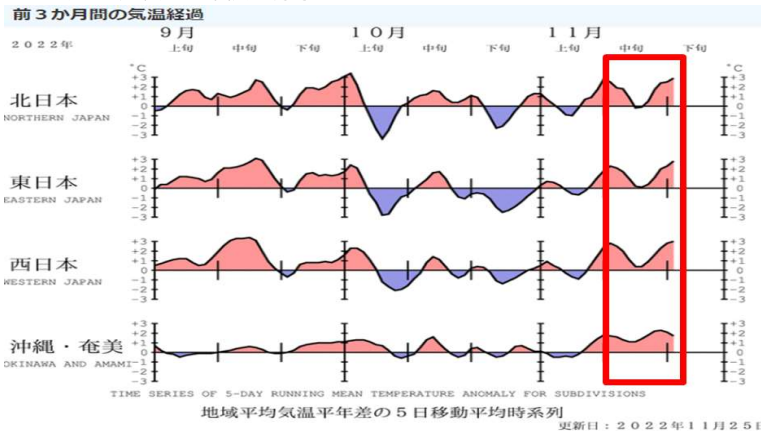
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	9.26-	10.3-	10.10-	10.17-	10.24-	10.31-	11.7-	11.14-
ドリンクタイプ	➡	⬇	➡	➡	➡	➡	➡	➡
個食タイプ	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
大容量タイプ	⬇	⬇	⬇	➡	⬇	⬇	⬇	⬇

- ↓
: 前年比90%未満
- ↘
: 前年比105%以上110%未満
- ↘
: 前年比90%以上100%未満
- ↑
: 前年比110%以上120%未満
- ➡
: 前年比100%以上105%未満
- ↑
: 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※11/14週の気温経過 出典:気象庁



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」